

令和7年度（神奈川県立湘南支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての立場を自覚し、教職員として法令遵守意識を確固とし、公務外非行の防止に努める。	・年度当初や長期休業前と10月の変更時に、サービス内容と連絡方法などの手続き手順について周知共有し、法令遵守を呼びかけた。 ・毎月の不祥事防止ミニ研修で、教育公務員の自覚や高い倫理観と立場への意識を高め、自身の行動を点検し、振り返った。ヒヤリ・ハットを全員で共有し、報告・連絡・相談を速やかに行い、再発防止に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	職員同士がお互いの人権を尊重した言動、行動をし、誰もが働きやすい職場環境を作る。	・啓発資料とアンケート結果を活用してハラスメントになり得る具体的な言動や行動について振り返りを通して教員一人ひとりの意識を高めた。 ・風通しの良い職場づくりの一環も兼ねて長期休業中に健康増進週間を衛生委員会が企画、実施した。
児童生徒等に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが、児童生徒の人権を尊重した指導を行い、事故不祥事の未然防止に当事者意識をもって取り組む。	・管理職が毎日校内巡視で教室環境と指導支援の観察を行い、良い取組のフィードバックを通して未然防止に努めた。 ・全教職員が県の資料で視聴研修を個別に行い改めて学んだ。「児童・生徒に対する相談・指導等における留意事項の徹底について」も再度確認して内容の理解を確実にした。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した丁寧な指導を行う。	・児童生徒の人権に配慮した関わり方や考えを深めるため、全校対象の人権研修会を開催した。また、全校で「さん付けデー」を1日行い、振り返りも実施した。常に児童生徒の名前の敬称づけ、年齢相応の言葉かけ、身体的な距離感を意識して指導することの共有を図った。 ・毎日、管理職と総括教諭の情報共有を行い、気になる指導等の報告を受けたら、管理職から注意喚起を行った。
入学者選抜、進路関係書類の作成および取扱いに係る事故防止	入学者選抜、進路関係資料、個別教育計画等の作成、管理を適切に行う。	・個別教育計画作成の時期には、管理方法、配付時の注意事項について再確認を行い、ミスがないように徹底できた。 ・入学者選抜業務の手順や緊急時対応などについて関係者で事前に確認を行い、適切に実施した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防止する。	・県点検資料を参考にし、総括教諭による不祥事防止ミニ研修を自分ごととして考えられるよう、身近な事例を取り入れて実施した。実際に起きたヒヤリ・ハットは総括教諭同士で意見交換し、再発防止策を検討、当該学部での振り返りに併せて学校全体の意識をさらに高めるよう取り組んだ。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守と交通事故を防止する。	・交通法規の遵守、交通事故防止に関して、日常的に注意喚起を行い、連休や長期休業前には再確認を呼びかけた。 ・飲酒運転禁止や交通事故防止について総括教諭による不祥事防止ミニ研修を実施した。万一、事故になった場合の対応等の確認もできた。
会計事務、財務事務等の適正執行	私費会計基準等に則した計画的で適正な執行に努める。	・複数チェック体制で、適切な私費会計の執行ができた。私費会計担当者会の開催による、執行に係る手順も確認できた。 ・次年度さらに適正な執行となるよう私費会計の仕組みを事務室や業務アシスタントの業務も含めて改善中である。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

令和7年度は、次の3点を重点課題として全校で取り組んだ。

(1) 管理職による不祥事根絶メッセージの発信（朝の打合せ、他）

全体への発信とともに一人ひとりの職員の良い行動に着目し、フィードバックを密に行うなどコミュニケーションを深め、不祥事の未然防止となるように努める。

(2) 不祥事防止ミニ研修実施（各月職員会議の前）

各回の講師を総括教諭等で分担し、研鑽・討議を通して成果を全職員で共有する。

(3) 風通しの良い職場づくりの実施

教職員全体で子どもの人権はもちろん、お互いの人権を尊重する意識を今以上に高め、教職員間のOJTを推進し、互いを認め合う風通しの良い職場づくりを実施する。学校全体の働き方改革を進め、物理的精神的なゆとりを創出することで事故・不祥事の防止につなげる。

今年度もヒヤリ・ハットを速やかに全校で共有し、総括教諭を中心に意見交換して再発防止策を検討、実行し、学校全体で共有、防止に努めた。特に、老朽化対策やガラス窓の破損対応、鉄扉の開閉時のケガや昇降口のシューズボックスの位置など事務室とも緊急に対応できた。チーム湘南として、再発防止を徹底しようとの協力体制が整っていたからである。また、毎日の挨拶を大切にコミュニケーションし、教員同士の関係づくりに重点を置いて不祥事防止の根幹となる風通しの良い職場づくりに努め、校内巡視で教室環境の確認と指導実践の観察を行い、良い取組のフィードバックを通して未然防止を図った。

特に、人権を尊重した指導や関わり方を目指して不祥事防止研修を実施、教員が主体的に自分ごととして考え、気づき、振り返るよう工夫した。毎月の不祥事防止ミニ研修では、総括教諭からのわかりやすい説明や重要な点を示唆するなど短時間でも全員が共有して成果を上げた。県点検啓発資料を活用して個々の取組について振り返る機会とし、不祥事防止に対する意識を高めることができた。

令和8年度も、児童生徒の人権を尊重した丁寧な指導支援に向け具体的な方策を講じたい。ヒヤリ・ハット報告の仕組みの有効活用、定期的な振り返り、課題に焦点を絞った不祥事防止研修の実施等、効果的に不祥事防止を意識した職場づくりに努めたい。